

会計名			徴収業務事業				担当部		総務部		
一般会計							担当課		納税課		
款	項	目					担当係		収納管理係		
2	2	2							納税推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	マネジメント方針								
		基本施策	健全な財政運営								
		施策の内容	なし								
	目的	適正な収納管理を進めるとともに滞納整理を推進することで、市税収入を適切に確保する。				主たる内容	市民のニーズに即した収納環境の整備に努める一方で、滞納案件については臨戸訪問を含めた督促や催告を行い、必要に応じて適正な滞納処分を行う。				
		位置づけ	関連計画								
		根拠法令	地方税法・刈谷市税条例								
	対象者	納税義務者				事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績	納付方法の拡充と適正な収納管理を実施するとともに、国及び県と連携した適切な債権管理、滞納整理を推進し、安定した市税の確保を図った。 ・eL-QRへの対応準備 納付書のレイアウト変更 パンフレット作成								
			5年度実績	納付方法の拡充と適正な収納管理を実施するとともに、国及び県と連携した適切な債権管理、滞納整理を推進し、安定した市税の確保を図った。 また、eL-QRへの円滑な対応を行った。							
6年度実績				適正な収納管理を実施するとともに、国及び県と連携した適切な債権管理、滞納整理を推進し、安定した市税の確保を図った。 令和5年度に導入したpipitLING（預貯金照会電子化サービス）の活用により事務の効率化を図った。							
		7年度計画	適正な収納管理を実施するとともに、国及び県と連携した適切な債権管理、滞納整理を推進し、安定した市税の確保を図る。 ペイジー口座振替受付サービスを導入する。								
成果			愛知県特別滞納整理室と連携するとともに、滞納処分を適切に実施し、滞納整理の推進を図ることができた。また、令和5年度に導入したpipitLING（預貯金照会電子化サービス）の活用により、預貯金照会にかかる時間を削減し事務の効率化を図ることができた。								
課題		物価の上昇・米国の関税措置等による経済への影響が懸念される中、収納率の維持向上が課題である。									
指標名称（単位）		実績値				目標値					
						4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
		成果指標	市税滞納繰越分収納率（％）	37.4	39.5	38.9	39.0	40.0			
指標											
他市との比較検証	【近隣市の令和6年度収納率（滞納繰越分）】 碧南市 49.6％ 安城市 30.9％ 知立市 25.5％ 高浜市 38.8％										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①		30,048	31,533	37,469	47,993	合計	37,468,585 円			
	財源	特定財源	0	0	33	222	報酬	12,240,510 円			
		一般財源	30,048	31,533	37,436	47,771	職員手当等	4,115,446 円			
	職員人件費 ②		85,909	84,862	88,077	89,573	旅費	884,200 円			
	総事業費（①＋②）		115,957	116,395	125,546	137,566	需用費	1,469,877 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称		役務費	14,290,544 円			
		6年度までの累積事業費		0	市税滞納処分費 自動車・建物保険解約返戻金		委託料	220,422 円			
8年度以降の事業費見込		0	使用料及び賃借料	1,275,769 円							
						負担金、補助及び交付金	2,965,217 円				
						公課費	6,600 円				

会計名			徴収業務事業	担当部	総務部
一般会計				担当課	納税課
款	項	目		担当係	収納管理係
2	2	2			納税推進係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市税収入を確保するだけでなく、税の公平性を保つ観点から必要性の高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	口座振替や督促催告により、市税の円滑な徴収及び差押等適切な滞納整理を行っている。また、預貯金照会電子化サービスの導入等により効率的な事業執行ができています。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市の様々な事業を執行するための裏付けとなる歳入の確保は健全な財政運営に不可欠であり、多くの納税者からも期待される事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	市税収入の安定的な確保は、市の事業執行という形で市民に還元され市民サービスの向上につながると言える。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	引き続き、市税収入の安定した確保と税の公平性を担保するため事業を継続していく必要がある。預貯金照会電子化サービスのように、事業執行におけるデジタル化やペーパーレス化を推進し効率的な事業執行を進める。				

会計名			徴収事務システム管理事業				担当部		総務部	
一般会計							担当課		納税課	
款	項	目					担当係		収納管理係	
2	2	2							納税推進係	

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	マネジメント方針					
		基本施策	健全な財政運営					
		施策の内容	なし					
	目的	税収納システム及び滞納整理システムを活用することで、事務の効率化、迅速化、滞納者情報の一元化等を図り、滞納させない仕組み作りによる収納率向上を目指す。			主たる内容	○税収納システムの運用管理 ・納付管理、口座振替、過誤納金管理、納付書並びに証明書の発行など ○滞納整理システムの運用管理 ・システムの保守管理、機器の借上げなど		
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
	対象者	納税義務者		事業期間	平成21年度～			
実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	税収納システム及び滞納整理システムの運用と、両システム間の連携管理・保守		e L - Q R対応後の税収納システム及び滞納整理システムの運用と、両システム間の連携管理・保守		税収納システム及び滞納整理システムの運用と、両システム間の連携管理・保守		税収納システム及び滞納整理システムの運用と、両システム間の連携管理・保守			
	成果	税収納システムのパッケージ導入により、迅速かつ適切な収納管理が実施できた。また、税収納システムと連携した滞納整理システムの運用管理を行い、滞納情報管理の徹底と業務の効率化を図ることができた。								
	課題	税収納システムの安定的な稼働のために、課税システムとの連携管理を行う必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	指標									
	指標									
	他市との比較検証	近隣市でも同一システムを使用している市があるため、情報共有を密に行い、効率的な運用を行う。								

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		24,149	24,149	24,149	23,839	合計	24,148,896 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	18,827,292 円
		一般財源	24,149	24,149	24,149	23,839	使用料及び賃借料	5,321,604 円
	職員人件費 ②		2,936	2,992	3,106	3,159		
	総事業費（①+②）		27,085	27,141	27,255	26,998		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0		該当なし		
		8年度以降の事業費見込		0				